



## TOPICS1 2/28 コミュニティづくり研究会報告

2月末、第3回目となる【コミュニティづくり研究会】が福祉センターで開催されました。参加者は総勢57名。行政区長・町内会長、民生委員、福祉推進部長の皆さんが一堂に会し、福祉先進地の事例を学び、意見交換する場となりました。

### 講演会



「地域での見守り活動を通じてコミュニケーションをどのように作るか」をテーマに札幌市の「小規模多機能居宅介護センター支中心」代表の川本俊憲先生にご講演いただきました。見守り活動推進のポイントや継続のための具体的なアドバイスを盛り込みながら、ご自身の実践経験をコンパクトに紹介。高齢者や障害者を「対象者」として見るのではなく、主体性を大切にすることなど、「視点」の持ち方の重要性をお話くださいました。

### 地域福祉表彰

美瑛町社会福祉協議会では、積極的に福祉活動を推進している自治組織や福祉善行をされている方を研究会の場で表彰することと致しました。初年度となる今回は代表として3名の方々にご出席いただきました。



花園第1町内会  
ひとり暮らしの  
お年寄りを  
見守る町内会

町内会長の馬場克廣氏

北瑛公民分館  
地域の助け合いによる  
除雪活動

分館長の堀内重夫氏



国枝 孝氏  
地道に続ける  
ごみ拾い活動

陰でサポートしてくださる  
奥様と一緒に



### 地域情報交換会



24年度より社協事業、そしてそれぞれの行政区・町内会で取り組んでいる、緊急時に役立つ【安心キット】の配布について活発な意見交換がなされました。

CLOSEUP

### 【安心キット】を話題とした情報交換会で出されたご意見

- ・安心キットを通して、地域における福祉課題が見えてきたというメリットあり。
- ・安心キットの配布先名簿を作成し、役員が引き継ぎをしていかなければ意味がない。
- ・情報の更新を確実にしなければならない。町内会長、民生委員、福祉推進部長の三者で情報をどのように更新していくか検討する必要がある。
- ・対象者は現在70歳以上だが、希望者がいれば65歳以上まで引き下げてはどうか？また高齢者世帯だけでなく、対象者を広げられないか？例えば共稼ぎや一人親世帯で子供が障害者というようなケースの対応も検討してほしい。
- ・安心キットによって、心の安心を得ることができたと大変喜ばれた。
- ・その地域に合った進め方が必要。町内会で集って話してもなかなか伝わっていかないので、敬老会や老人会などでアピールするような方法もあると思う。

